

## 緑の担い手

### フォレストリーダー 研修で得たこと

大子町森林組合  
丸山大樹

私が林業を始めたときっかけは、運送会社で勤務していた当時、リーマンショックの影響で仕事が激減し、不安定な収入になったときに、地元先輩から大子町森林組合を紹介していたことでした。

最初は、山を歩くだけでも大変でしたが、周りの先輩方の御指導の下、今では仕事の流れを徐々に理解することができ、やりがいを感じられるようになりました。その上で、危険な場面がたくさんあり、どのようにすれば安全に、かつ効率的に仕事ができるかを考えると、経験だけではなく知識も必要と思ひ、就職して13年目となってフォレストリーダー研修に参加しました。

研修では、現場作業管理や判断力、指導方法、責任を担える能力などについて学びました。一緒に受講した他の林業事業者の方々との出会いや、同じ境遇での意見交換など、この研修でしか得られない体験、経験ができて有意義な時間が過ごせました。

今後は、この経験を次の世代の人達に伝えていきたいと思ひます。しかし、若い林業技術者、担い手が少ないのも深刻な現状です。

当組合では、年に数回地元の高校生や一般の方向けの各種イベントを行つています。それらを通じて一人でも多くの方々に林業について興味を持っていただきたいと強く思つております。

大子町の約8割が森林です。それら森林を次世代に良い状態でつないでいくためにも、微力ではありますが地域貢献と、若手育成に尽力してまいります。



利用時期をむかえたヒノキの伐採風景